

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月10日	記入者		連絡先	2726
平成18年度部名	経済部	課名	産業振興課	課長名	下山 啓二
平成19年度部名	経済部	課名	産業振興課	課長名	下山 啓二
事務事業名	商工団体等補助金				
予算上の事務事業名	商工団体等補助金(津久井町商工会補助金)				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31110		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第1節 活力ある産業の振興				
施策名	第1施策 総合的な産業振興施策の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要					
計画名	概要				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	▼		5 事業開始年度	▼	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
商工業の総合的な改善発達を図る等のための組織として設けられた商工会の事業を支援することにより、国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。				津久井町内中小企業者	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
年間を通して、町内の商工業者の経営改善を図るため、各種の経営指導を実施する。					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
他市・他町でも補助金を交付している。					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	7,547	8,422	8,507	8,489	8,489
一般財源	7,547	8,422	8,507	8,489	8,489
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	330	330	330	330	330
事業コスト合計	7,877	8,752	8,837	8,819	8,819
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	津久井町商工会補助金のうちの人件費補助			対象名称 と単位	補助金(千円)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	6,486	6,775	6,962	7,203	7,203
対象数	6	6	6	6	6
単位あたり経費(円)	1,081,000	1,129,167	1,160,333	1,200,500	1,200,500
前年度比		1.04	1.03	1.03	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	巡回窓口相談指導件数（件）	指標式と指標の説明	会員数×局長を除く職員数（5）×2件 職員の活動状況を見る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	6,423.0	7,589.0	6,196.0		
目標	6,680.0	6,720.0	6,690.0	6,800.0	6,800.0
目標達成度（%）	96.2	112.9	92.6		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	商工会の組織率	指標式と指標の説明	会員数÷事業者数×100 事業者の指導ニーズを見る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	60.2	60.5	60.3		
目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
目標達成度（%）	100.3	100.8	100.5		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ]	：良好な状態を維持する事業			
	[ ]	：概ね良好な状況である事業			
	[ ]	：見直しを行う必要がある事業			
	[ ]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		組織率からみても経営指導に対するニーズは高く、今後もこの傾向は続くものと思われる。しかしながら、1市に1つの商工会議所と4つの商工会が存在している状況は、効率面からみても適当とは言い難い。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
4つの商工会の連携を深めることにより、指導効率の向上や指導内容のレベルアップを図る。			各商工会で補助内容が異なるため、事業成果の比較が難しいこと。		
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			